○乾燥弱毒生水痘ワクチン　[注]

【重要度】　【一般製剤名】弱毒生水痘ワクチン　Varicella Vaccine Live Attenuated　【分類】生ワクチン製剤
【単位】○弱毒生水痘ウイルス岡株 1000PFU 以上/V［溶解用注射用水］
【常用量】水痘及び 50 歳以上の者に対する帯状疱疹の予防に適用
添付の溶剤（注射用水）0.7mL で溶解し，その 0.5mL を 1 回皮下に注射
【用法】皮下注
▼小児定期接種
生後 12～36 月で 3 か月以上の間隔で 2 回接種
標準的には 1 回目は生後 12～15 月，2 回目は 1 回目から 6～12 月経過後に接種
▼成人帯状疱疹予防
1 回接種
【透析患者への投与方法】
透析患者での帯状疱疹発症抑制効果あり（60 代のうちに導入後早期に接種）［HR0.49; 95%CI 0.29-0.85］（Tseng HF, et al: Clin Infect Dis 2016 PMID: 26671505）
【保存期 CKD 患者への投与方法】
CKD 患者でも帯状疱疹発症抑制効果あり（Langan SM, et al: Nephrol Dial Transplant 2016 PMID: 26769683）
【特徴】
【主な副作用・毒性】
【安全性に関する情報】生ワクチン接種 3 週間後に腎移植レシピエントに発生した帯状疱疹の症例（Ortiz-Brizuela E, et al: Vaccine 2019 PMID: 31109718）
頻度はまれだが，主に免疫抑制者において帯状疱疹の発症が認められている（Willis ED, et al: Vaccine 2017 PMID: 29174682）

【F】
【tmax】
【代謝】
【排泄】
【t1/2】
【蛋白結合率】
【Vd】
【MW】
【透析性】
【O/W 係数】
【主な臨床報告】
60 歳以上の成人において 1 回の皮下注にて帯状疱疹の発症を 6 割抑制し，PHN を 5 割抑制（Oxman MN, et al: N Engl J Med 2005 PMID: 15930418）
悪性腫瘍，DM，自己免疫疾患，CKD（eGFR 平均 50 程度）があっても接種における安全性に問題は認めなかった（Ohfuji S, et al: BMC Infect Dis 2019 PMID: 30691396）
免疫抑制患者では抗体価よりも T 細胞機能評価が防御能評価に有用かもしれない（Righi E, et al: Viral Immunol 2019 PMID: 30694731）
50 歳以上への接種にて帯状疱疹発症リスクが 34%低下［スウェーデンコホート］（Blom K, et al: Vaccine 2019 PMID: 31230884）

【更新日】20240530

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。